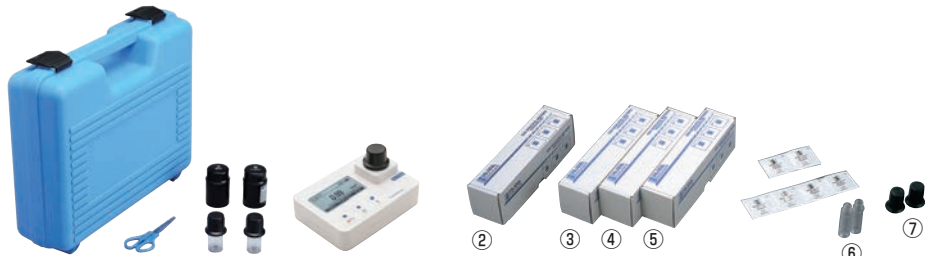


49 タイマー わずらわしい残留塩素管理は、これで解消

塩素は経済面、安全面からも一番管理されなければならない、パラメーターのひとつです。現在、塩素は飲料水・排水・スイミングプール・産業用装置・クーリングタワー等、様々な所での殺菌・消毒用に広く使われています。そのほとんどに残留塩素量の基準があり、厳密な残留塩素量の管理が必要です。ハンナの残留塩素計はDPD試薬を使用し、1/100ppmまで検出可能なコンパクト残留塩素計です。煩わしい残留塩素管理はこれ一台でOKです。携帯、保管に最適なプラスチック製キャリングケース付でありながら驚くべき低価格を実現。比色板、発色性のあるオルトリジンに変わる優れものです。



①ハンナ 残留塩素計 (キャリングケース付)

ページコード	商品コード	価格
HI 97701C 遊離塩素用	4-0779-0101 7354221	¥88,000
HI 97711C 遊離/全塩素用	4-0779-0102 7354321	¥91,000

品番	HI 97701C	HI 97711C
測定範囲	0.00~5.00 ppm	0.00~5.00 ppm
全塩素	不可	0.00~5.00 ppm
検出単位	0.01 ppm (0.00~3.50ppmの場合) 0.1 ppm (3.50ppm以上の場合)	
精度 @ 25°C	±0.03mg/L ±測定値の3%	
発光源	LED (525nm)	
受光部	シリコンフォトセル	
使用試薬	DPD (試薬はすべて別売りです)	
外部環境条件	0~50°C (相対湿度100%以下)	
電源	1.5V単3アルカリ電池 3個	
電源オフ	15分間の未使用後	
外形寸	143×103×51 / 380g	

付属品: 本体、測定用ガラスセル&キャップ2組、バリエーター1セット、セル面清浄用布、遊離塩素粉末試薬50回分、1.5V単3アルカリ電池 3個、ハードキャリングケース、日本語取扱説明書他

※日常防水加工

⑧残留塩素測定器 DPD法

ページコード	商品コード	価格
試薬なしセット	4-0779-0801 3875600	¥10,500
試薬付きセット	4-0779-0802 3875610	¥12,100

- 角形試験管シリコンキャップ付き(3本入) 4-0779-0803 3875620 ¥3,300
 - 交換用ビニールケース 4-0779-0804 3875630 ¥2,200
 - DPD法粉末試薬(100回分) 4-0779-0805 3875640 ¥1,800
 - DPD法粉末試薬徳用(500回分) 4-0779-0806 3875650 ¥6,800
 - ヨウ化カリウム(20g) 4-0779-0807 3875660 ¥3,700
- DPD試薬は粉末試薬で、1回1袋の分包タイプです。標準の100回分試薬と徳用の500回分試薬があります。
- DPD試薬にはpH緩衝剤も含まれていますので、検液のpHを調節し、安定した発色測定ができます。(pH3~10の検水であれば安定した測定ができます)
- オプションのヨウ化カリウム試薬を併用すると総残留塩素の測定ができ、総残留塩素濃度と遊離残留塩素との差から結合残留塩素濃度を求めることができます。

⑨ハンナ HI 93701-FJ 遊離塩素試薬 (錠剤500回)

ページコード	商品コード	価格
4-0779-0901	7354721	¥13,500

⑩ハンナ HI 93701-TJ 全塩素用試薬 (錠剤300回分+液体1本)

ページコード	商品コード	価格
4-0779-1001	7354711	¥12,000

ハンナ 遊離塩素計用試薬

ページコード	商品コード	価格
②HI 93701-01 100回分	4-0779-0201 7354400	¥4,900
③HI 93701-03 300回分	4-0779-0301 7354500	¥13,800

ハンナ 全塩素計用試薬

ページコード	商品コード	価格
④HI 93711-01 100回分	4-0779-0401 7354600	¥4,900
⑤HI 93711-03 300回分	4-0779-0501 7354700	¥13,900

⑥残留塩素計サンプル採取用 ガラス容器(4ヶ入)

ページコード	商品コード	価格
HI 731331	4-0779-0601 7354810	¥5,100

⑦残留塩素計サンプル採取用 ガラス容器用キャップ(4ヶ入)

ページコード	商品コード	価格
HI 731335	4-0779-0701 7354910	¥2,900

《残留塩素の種類》

残留塩素とは塩素処理の結果、水中に残留した有効塩素(酸化力を有する形の塩素)をいいます。残留塩素には2つの種類があり、1つは遊離残留塩素(次亜塩素酸HClOおよび次亜塩素酸イオンClO⁻)です。一般にこの塩素濃度の測定が衛生管理上特に重要になります。もう1つは結合残留塩素(アンモニアや有機性窒素化合物などと結合した塩素)があります。この結合残留塩素にはあまり有効な殺菌力がありません。そして、2種類の残留塩素(遊離残留塩素と結合塩素)を合わせて全塩素と呼びます。

《残留塩素の測定》

残留塩素計HI 97701C型は遊離残留塩素のみを測定、HI 97711C型は遊離残留塩素と全塩素の2つを測定することができます。遊離残留塩素のみを測定する場合と遊離残留塩素と結合塩素を合わせた全塩素を測定する場合の二通りがありますが、水道法では実際に蛇口から出る水の遊離残留塩素は0.1ppm以上を保持するよう塩素消毒することが義務付けられています。

測定法	試薬なしセット	試薬付きセット
	DPD法	
測定範囲	0.05~2.0 mg/l	
標準比色板	0.05 0.1 0.2 0.3 0.4 0.5 0.6 0.8 1.0 1.3 1.5 2.0	
構成	残留塩素測定器本体(12段階比色付)×1台 各形試験管シリコンキャップ付×3本 ビニールケース×1コ	残留塩素測定器本体(12段階比色付)×1台 各形試験管シリコンキャップ付×3本 ビニールケース×1コ DPD粉末試薬100回分×1箱
寸法	本体/67×37×H156 ビニールケース/97×50×H170	
質量	0.3kg(ケース含む)	

残留塩素の測定のDPD(N,N-ジエチルパラフェニレンジアミン)法

残留塩素とは水道の水の中に存在させることが必要な遊離残留塩素と結合残留塩素とを合わせたもので、その水に含まれる物質に対する殺菌や酸化反応に有効に作用し得る塩素化合物のことを指し、残留塩素を含む水にDPD試薬を加えると、残留塩素の量に応じて淡赤紫色~赤紫色に発色する反応に基づくものです。